

岡山県感染症週報 2017年 第22週 (5月29日～6月4日)

◆2017年 第22週 (5/29～6/4) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

第20週 2類感染症 結核 3名 (30代 女 1名、70代 女 1名、80代 男 1名)

第21週 2類感染症 結核 1名 (80代 男)

4類感染症 レジオネラ症 1名 (90代 女)

第22週 2類感染症 結核 2名 (80代 男 1名・女 1名)

5類感染症 アメーバ赤痢 1名 (50代 男)

侵襲性肺炎球菌感染症 1名 (60代 女)

梅毒 2名 (10代 男 1名、30代 女 1名)

■定点把握感染症の発生状況

患者報告医療機関数：インフルエンザ定点 84、小児科定点 54、眼科定点 12、STD 定点 17、基幹定点 5

○手足口病は、県全体で 94 名 (定点あたり 0.81 → 1.74 人) の報告があり、前週より大きく増加しました。

○咽頭結膜熱は、県全体で 34 名 (定点あたり 0.57 → 0.63 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。

○流行性角結膜炎は、県全体で 18 名 (定点あたり 1.92 → 1.50 人) の報告があり、前週より減少しました。

○感染性胃腸炎は、県全体で 350 名 (定点あたり 6.26 → 6.48 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。

【第23週 速報】

○岡山市内の小学校 1 校で、インフルエンザによるとみられる臨時休業がありました。(6月8日)

1. **手足口病**は、県全体で 94 名 (定点あたり 0.81 → 1.74 人) の報告があり、前週より大きく増加しました。地域別では、真庭地域 (4.50 人)、備前地域 (2.60 人)、岡山市 (1.86 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。特に真庭地域 (0.50 → 4.50 人)、備前地域 (0.50 → 2.60 人)、倉敷市 (0.45 → 1.82 人) では、前週より大きく増加しました。この感染症は、夏に乳幼児を中心に流行する急性ウイルス性感染症です。感染している人の咳やくしゃみで、飛び散るしぶきを浴びてウイルスを吸い込むことや、便の中に排泄されたウイルスが、手指などを介して口に入ることによって感染します。症状は、軽度の発熱とともに、口の粘膜、手のひら、足の甲や裏に 2～3mm の水疱性発疹が出現するのが特徴です。近年では、2011 年、2013 年、2015 年に県内で大きな流行がみられています。今後の県内の発生状況に注意するとともに、患者との濃厚な接触を避け、うがいや手洗い・手指の消毒を励行するなど、感染予防に努めてください。
2. **咽頭結膜熱**は、県全体で 34 名 (定点あたり 0.57 → 0.63 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。過去 10 年間の同時期と比較して高いレベルで推移しています。地域別では、備中地域 (0.71 → 1.43 人) で前週より大きく増加し、美作地域 (1.00 人)、岡山市 (0.71 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。この感染症は、アデノウイルスに感染することによる小児の急性感染症です。症状は、発熱、のどの痛み、結膜の充血、眼痛、眼脂 (目やに) などです。患者との接触を避けること、流行時に手洗いやうがいを実施することなどが予防法となります。今後の県内の発生状況に注意するとともに、感染予防と拡大防止に努めてください。
3. **流行性角結膜炎**は、県全体で 18 名 (定点あたり 1.92 → 1.50 人) の報告があり、前週より減少しました。患者数は減少したものの、過去 10 年間の同時期と比較して高いレベルで推移しています。地域別では、倉敷市 (2.50 人)、備中地域 (2.00 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。この感染症は、アデノウイルスによる眼の感染症で、8～14 日の潜伏期間の後、まぶたの浮腫、結膜の充血、眼脂 (目やに)、流涙、眼痛などの症状を呈します。有効な薬剤はなく、対症療法による治療が行なわれます。このウイルスは、感染力が強く、人と接触する機会の多い家庭や職場、病院などで流行します。感染した際には、目を触らないよう気を付け、触ったら石鹸と流水でよく手を洗う、タオルや洗面器などの共用は避ける、家庭内での入浴は最後にするなど、拡大防止に努めてください。
4. **感染性胃腸炎**は、県全体で 350 名 (定点あたり 6.26 → 6.48 人) の報告があり、前週とほぼ同数でした。地域別では、岡山市 (9.79 人)、備北地域 (7.75 人)、備前地域 (6.90 人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。県内の発生状況など詳しくは、「[感染性胃腸炎週報](#)」及び岡山県感染症情報センターホームページ『[2016/2017年 感染性胃腸炎情報](#)』をご覧ください。

流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	↓	★	RSウイルス感染症	↓	★
咽頭結膜熱	→	★★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★
感染性胃腸炎	→	★★★★	水痘	↘	★
手足口病	↑	★★	伝染性紅斑	↑	★
突発性発疹	→	★★	百日咳	↓	
ヘルパンギーナ	↗	★	流行性耳下腺炎	↘	★
急性出血性結膜炎	↑	★	流行性角結膜炎	↘	★★
細菌性髄膜炎	→		無菌性髄膜炎	→	
マイコプラズマ肺炎	↑	★	クラミジア肺炎	→	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↓	* 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、2013年第42週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。			

【記号の説明】 前週からの推移： ↑：大幅な増加 ↗：増加 →：ほぼ増減なし ↓：大幅な減少 ↘：減少
 大幅：前週比100%以上の増減 増加・減少：前週比10～100%未満の増減

発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。(発生数が多いことを示すものではありません。)
 空白：発生なし ★：わずか ★★：少し ★★★：やや多い ★★★★：多い ★★★★★：非常に多い

蚊が媒介する感染症に注意しましょう！

蚊が媒介する感染症は、ウイルスなどの病原体を保有する蚊に刺されることによって起こる感染症です。世界的に多く発生しており、特に熱帯・亜熱帯地域で広く流行しています。主な感染症には、**デング熱、ジカウイルス感染症、チクングニア熱、日本脳炎、マラリア、ウエストナイル熱**などがあります。近年では、中南米、アフリカ、東南アジアなどでジカウイルス感染症が流行しており、特に妊婦及び妊娠の可能性のある方はご注意ください。

日本では、海外渡航などの増加により、海外で感染し、帰国後発症する輸入症例が増加しており、2016年には、海外からの帰国者が、デング出血熱を発症し、死亡する事例が発生しました。また、2014年には、デング熱の国内感染例が報告されており、媒介する蚊が冬を越せないため、ウイルスの国内への定着はないと考えられますが、今後も注意が必要です。

【蚊が媒介する感染症の予防策】

日本脳炎はワクチンによる予防接種、マラリアは医師の処方による予防内服が有効ですが、デング熱、ジカウイルス感染症、チクングニア熱、ウエストナイル熱には、ワクチンも予防薬もありません。感染を防ぐためには、媒介する蚊に刺されないこと、蚊の発生を抑えることが重要です。

蚊に刺されない

- 長袖、長ズボンを着用するなど、屋外の作業において、肌の露出をなるべく避ける。
- 素足でのサンダル履きを避ける。
- 白など薄い色のシャツやズボンを選ぶ。(蚊は色の濃いものに近づく傾向がある)
- 蚊取り線香などを使って蚊を近づけない。
- 露出する部分には虫除けスプレーなどを使い、蚊を寄せ付けないようにする。

蚊を発生させない

家の周囲の水たまりの除去・清掃をしましょう！
下草を刈るなど、成虫が潜む場所をなくしましょう！

(厚生労働省)



蚊媒介感染症 (厚生労働省)

「蚊防除対策ガイドライン」を作成しました (岡山県 保健福祉部 健康推進課)

ポスター (厚生労働省)

【用心編】感染症の運び屋! 蚊からバリアーで身を守れ!

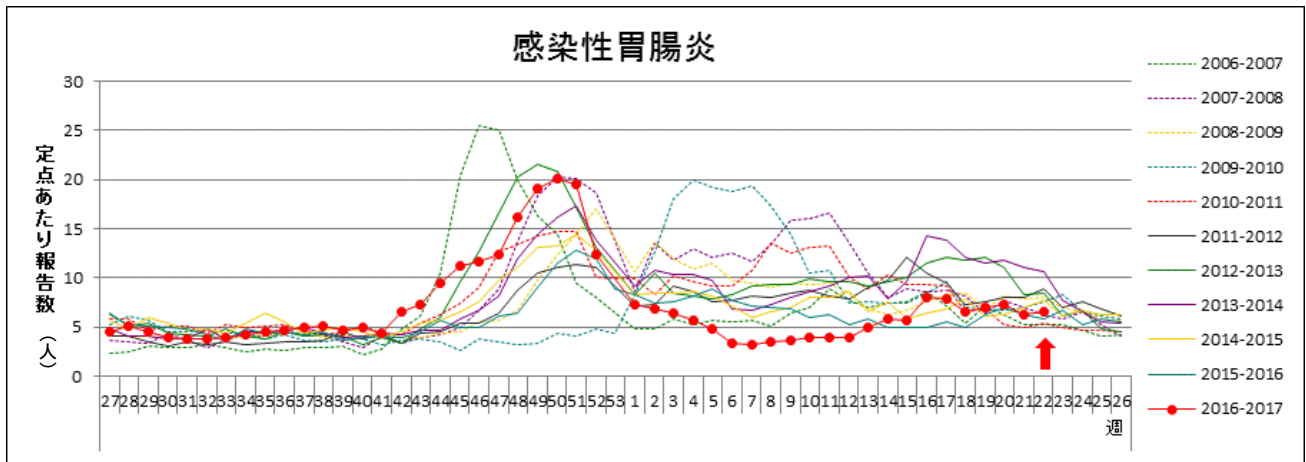
【発生源編】ジカ熱・デング熱の運び屋ヒトスジシマカの発生源を叩け!

【学校編】ジカ熱・デング熱の感染源 ヒトスジシマカに注意!

感染性胃腸炎週報 2017年 第22週 (5月29日～6月4日)

➤ 岡山県の流行状況

○感染性胃腸炎は、県全体で350名（定点あたり6.48人）の報告がありました（54定点医療機関報告）。

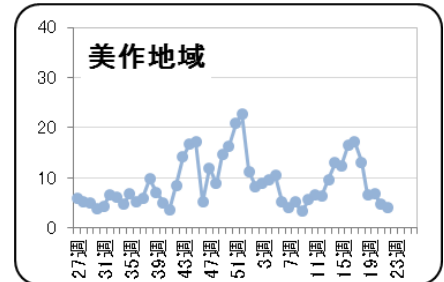
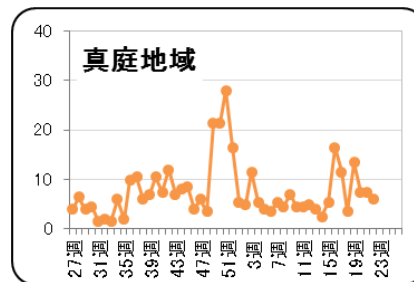
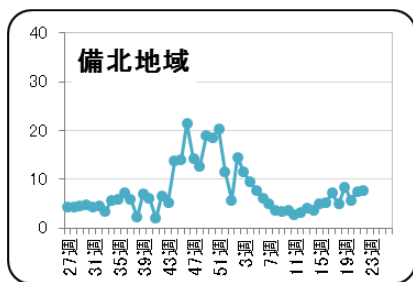
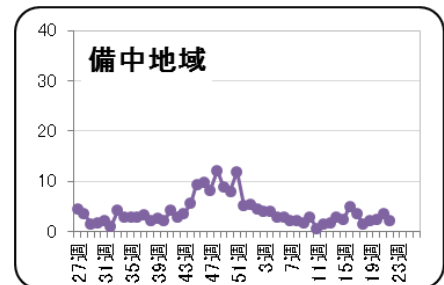
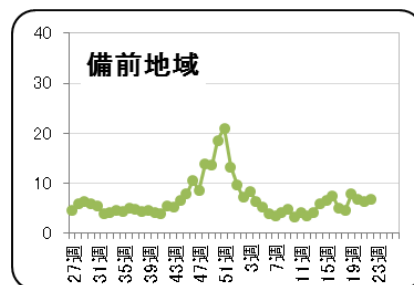
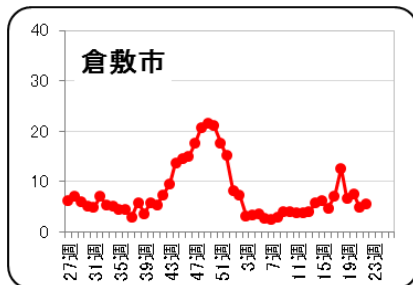
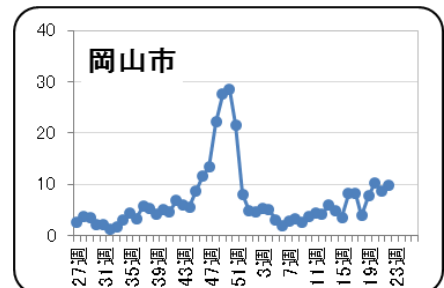
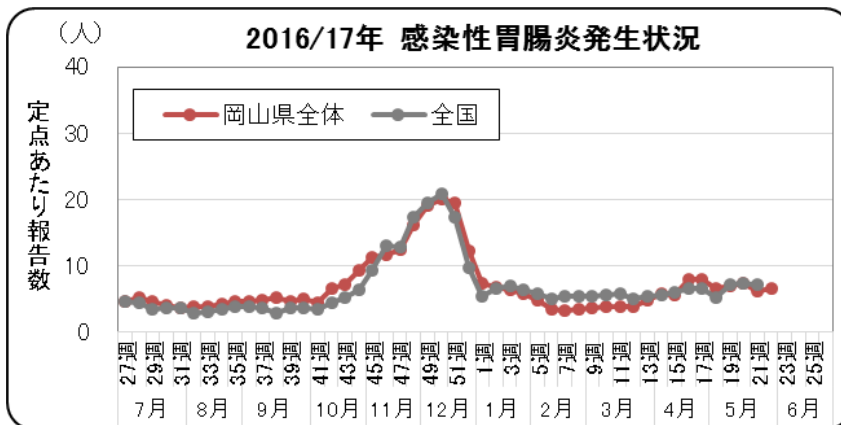


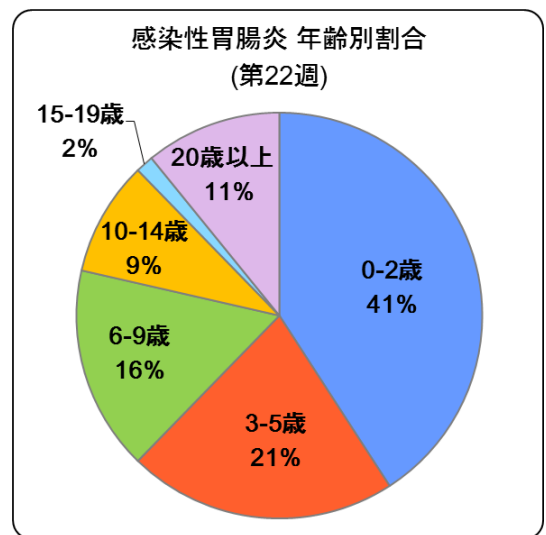
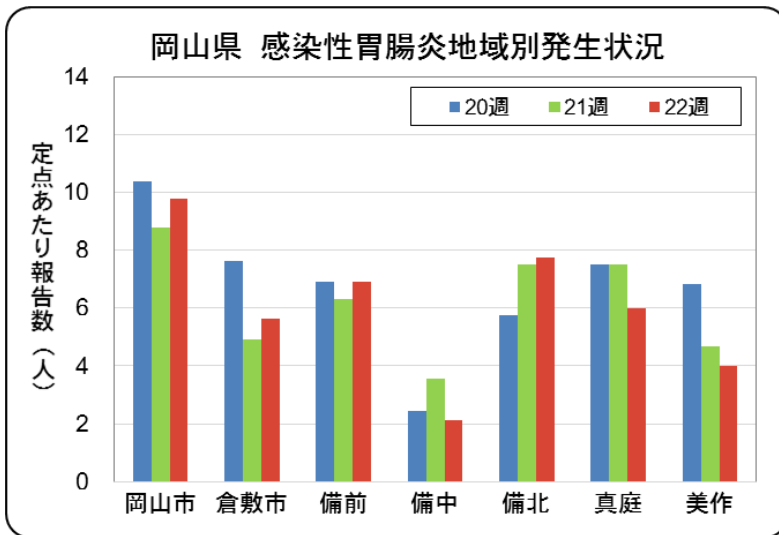
※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で350名（定点あたり6.26→6.48人）の報告があり、前週とほぼ同数でした。

例年、梅雨から夏にかけての高温多湿になる時期は、食中毒菌による感染性胃腸炎が増加します。特にトイレの後や調理・食事の前には、石けんと流水でしっかりと手を洗うなど、感染予防に努めてください。

◆地域別・年齢別発生状況





地域別では、岡山市（9.79人）、備北地域（7.75人）、備前地域（6.90人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。第22週年齢別割合では、0-2歳 41%、3-5歳 21%、6-9歳 16%の順で高くなっています。

◆◆◆ 食中毒予防の3原則 ◆◆◆

- 「清潔」（菌をつけない）
 - ・調理前、食事前、用便後には、手をよく洗いましょう。
 - ・まな板、ふきん等の調理器具は、十分に洗浄消毒を行いましょう。
- 「迅速・冷却」（菌を増やさない）
 - ・生鮮食品、調理したものは、できるだけ早く食べましょう。
 - ・生鮮食品や調理後の食品は、10℃以下で保存しましょう。
- 「加熱」（菌をやっつける）
 - ・加熱して食べる食品は、中心部まで十分に火を通しましょう。
 - ・特に、食肉等は中心部まで十分に火を通しましょう。
（食肉の生食は避けましょう。）

[食中毒予防の3原則（岡山県生活衛生課）](#)

[家庭でできる食中毒予防の6つのポイント（厚生労働省）](#)

保健所別報告患者数 2017年 22週(定点把握)

(2017/05/29～2017/06/04)

2017年6月8日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	13	0.15	2	0.09	1	0.06	8	0.53	-	-	-	-	-	-	2	0.20
RSウイルス感染症	2	0.04	-	-	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	34	0.63	10	0.71	1	0.09	6	0.60	10	1.43	1	0.25	-	-	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	60	1.11	25	1.79	19	1.73	1	0.10	2	0.29	3	0.75	1	0.50	9	1.50
感染性胃腸炎	350	6.48	137	9.79	62	5.64	69	6.90	15	2.14	31	7.75	12	6.00	24	4.00
水痘	23	0.43	7	0.50	3	0.27	1	0.10	-	-	-	-	8	4.00	4	0.67
手足口病	94	1.74	26	1.86	20	1.82	26	2.60	5	0.71	4	1.00	9	4.50	4	0.67
伝染性紅斑	4	0.07	-	-	-	-	4	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	28	0.52	18	1.29	5	0.45	-	-	1	0.14	1	0.25	-	-	3	0.50
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	24	0.44	8	0.57	6	0.55	2	0.20	4	0.57	2	0.50	-	-	2	0.33
流行性耳下腺炎	14	0.26	9	0.64	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	3	0.50
急性出血性結膜炎	1	0.08	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	18	1.50	5	1.00	10	2.50	1	1.00	2	2.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.20	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数 2017年 22週(発生レベル設定疾患)

(2017/05/29～2017/06/04)

2017年6月8日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	13	0.15	2	0.09	1	0.06	8	0.53	-	-	-	-	-	-	2	0.20
咽頭結膜熱	34	0.63	10	0.71	1	0.09	6	0.60	10	1.43	1	0.25	-	-	6	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	60	1.11	25	1.79	19	1.73	1	0.10	2	0.29	3	0.75	1	0.50	9	1.50
感染性胃腸炎	350	6.48	137	9.79	62	5.64	69	6.90	15	2.14	31	7.75	12	6.00	24	4.00
水痘	23	0.43	7	0.50	3	0.27	1	0.10	-	-	-	-	8	4.00	4	0.67
手足口病	94	1.74	26	1.86	20	1.82	26	2.60	5	0.71	4	1.00	9	4.50	4	0.67
伝染性紅斑	4	0.07	-	-	-	-	4	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	24	0.44	8	0.57	6	0.55	2	0.20	4	0.57	2	0.50	-	-	2	0.33
流行性耳下腺炎	14	0.26	9	0.64	1	0.09	-	-	1	0.14	-	-	-	-	3	0.50
急性出血性結膜炎	1	0.08	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	18	1.50	5	1.00	10	2.50	1	1.00	2	2.00	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2
を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2017年 第22週 2017/05/29～2017/06/04)

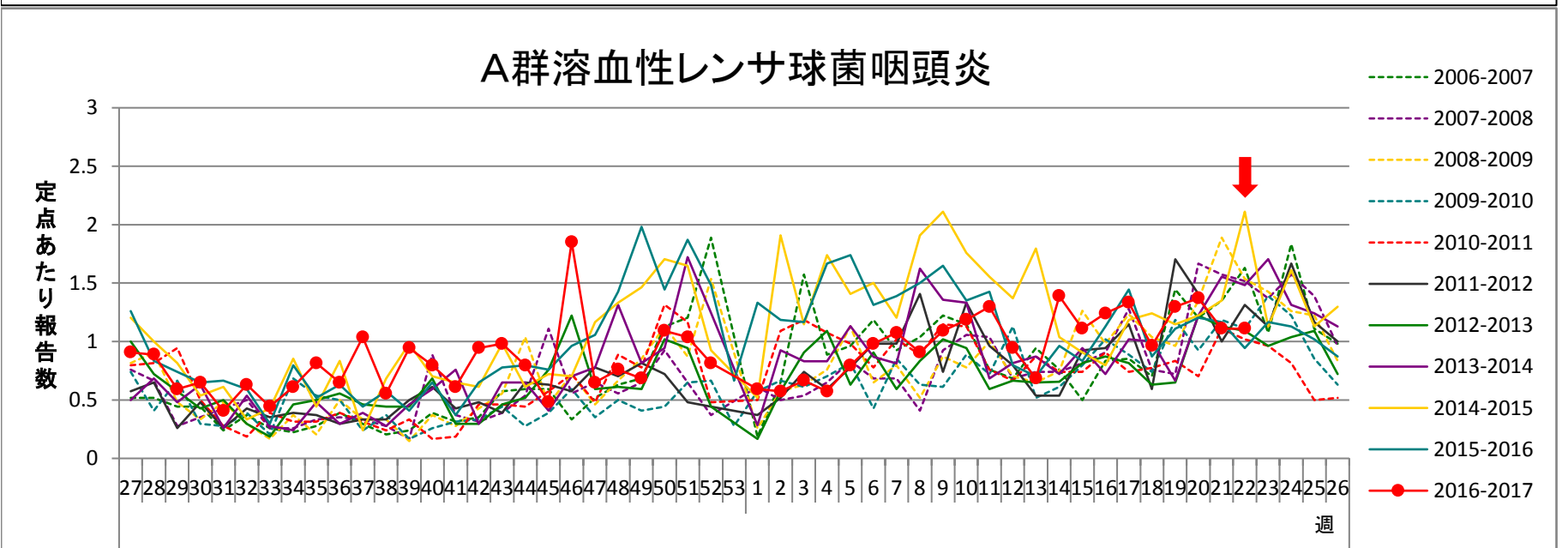
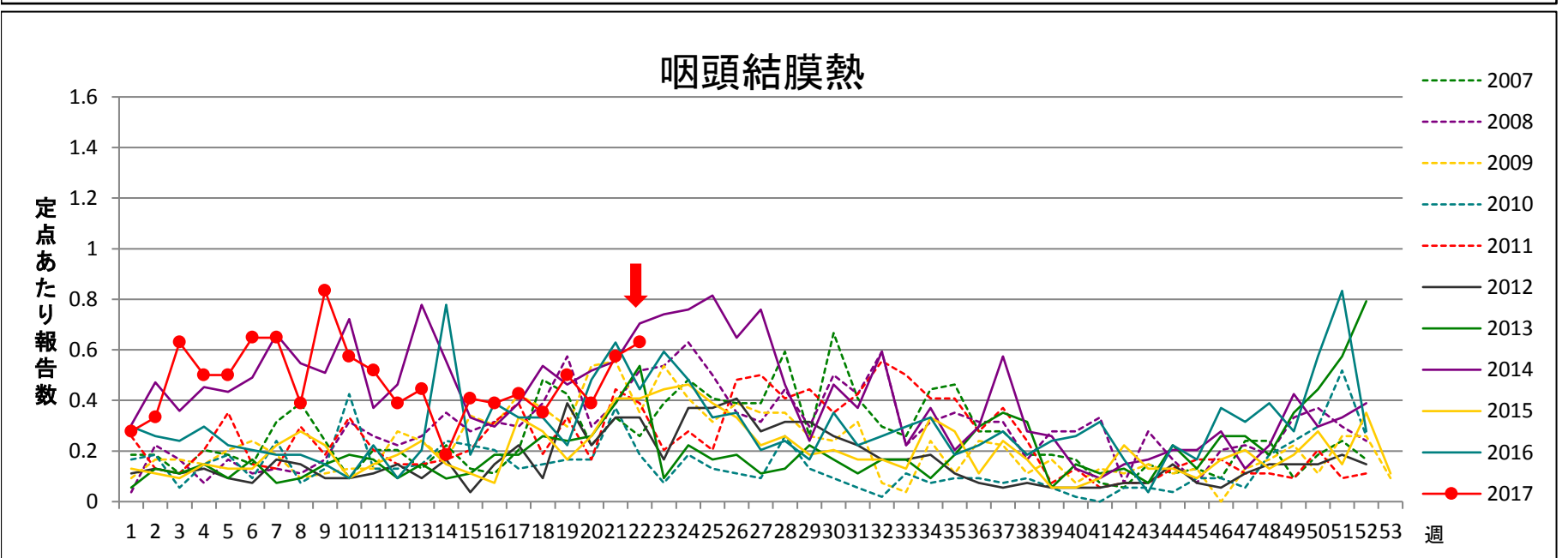
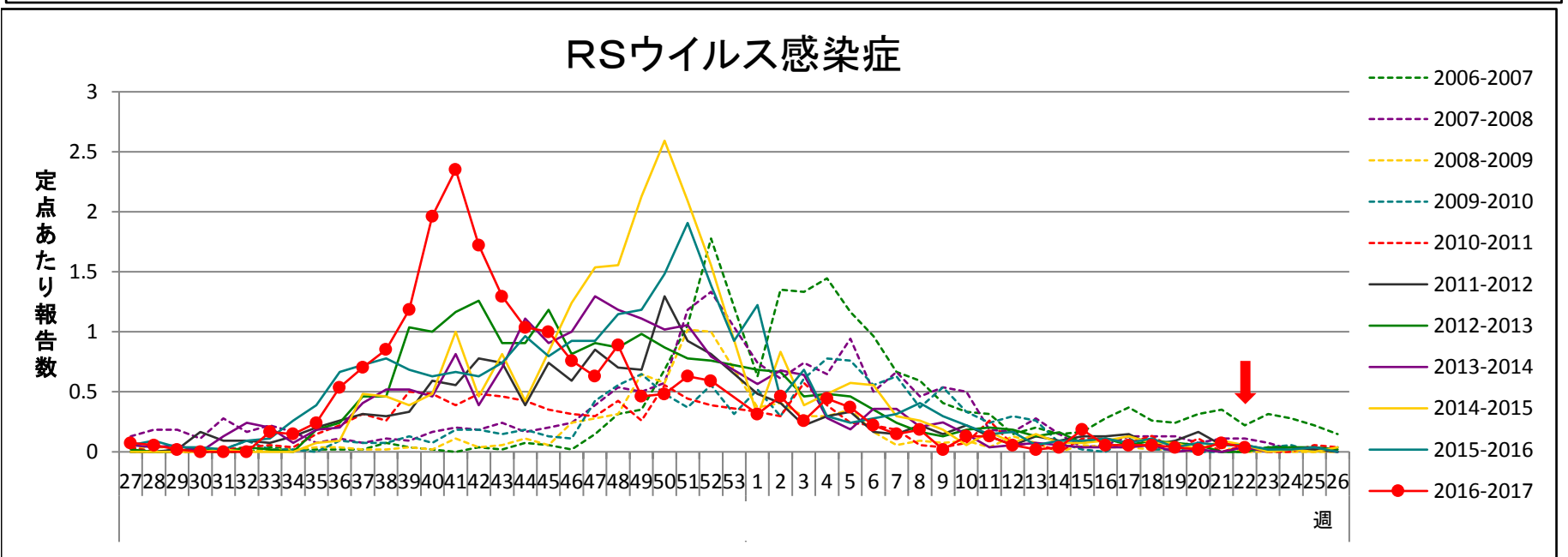
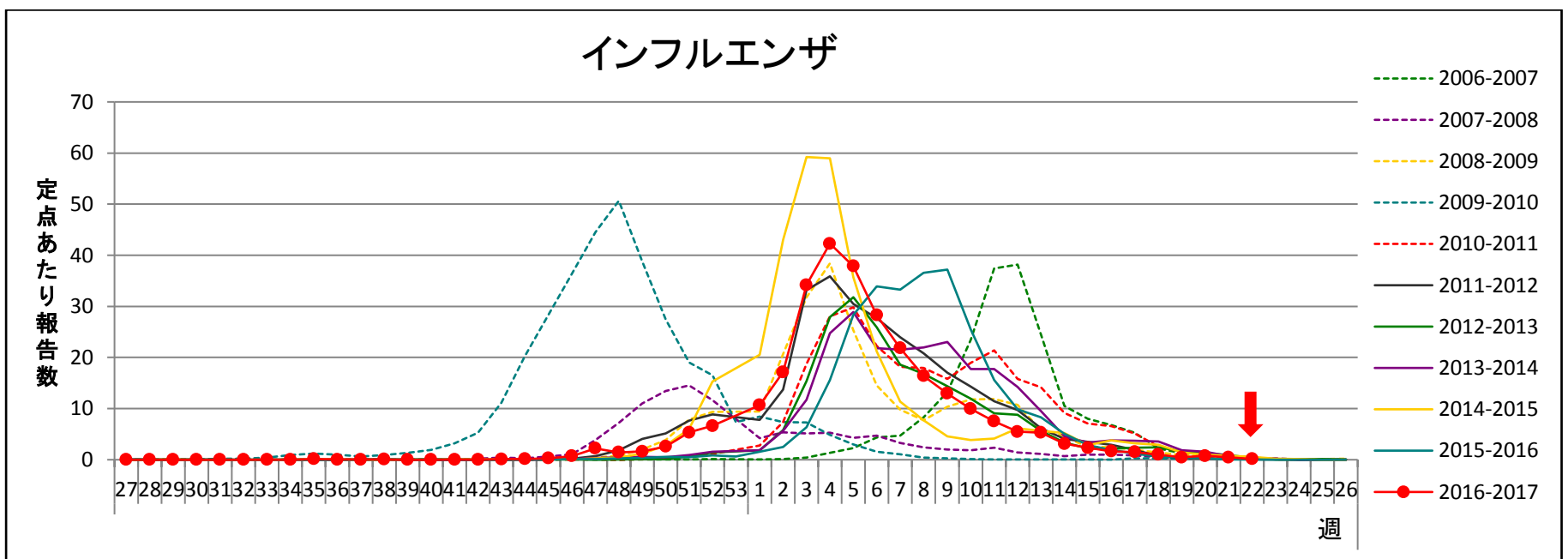
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	13	-	-	2	1	-	2	1	-	-	-	1	1	-	-	3	-	1	-	-	1

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
咽頭結膜熱	34	-	5	10	7	7	3	1	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	60	-	-	3	1	9	9	16	6	6	6	-	3	-	1
感染性胃腸炎	350	5	32	68	38	38	16	21	23	10	14	10	32	5	38
水痘	23	1	1	2	2	4	2	4	-	1	-	2	3	1	-
手足口病	94	3	10	37	15	11	3	5	4	3	1	-	2	-	-
伝染性紅斑	4	-	-	1	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
突発性発疹	28	-	11	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	24	-	2	8	4	4	1	1	2	-	-	1	1	-	-
流行性耳下腺炎	14	-	-	-	1	2	2	7	1	-	1	-	-	-	-

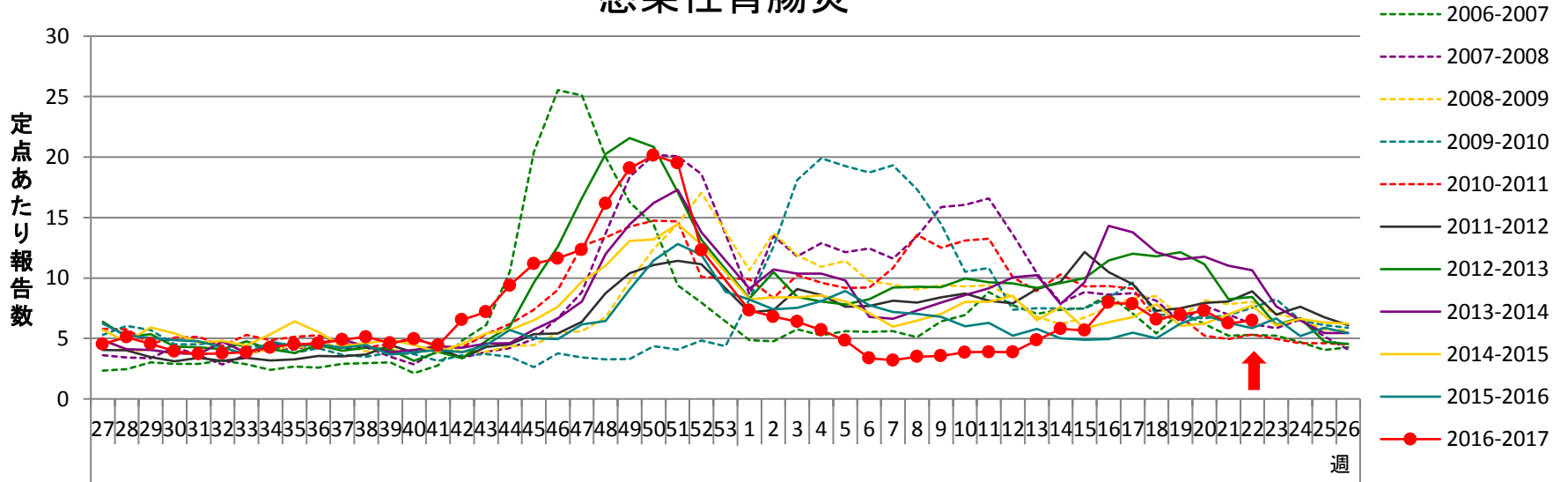
疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
流行性角結膜炎	18	-	-	1	-	2	2	1	-	-	-	1	-	-	1	2	2	-	2	4

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

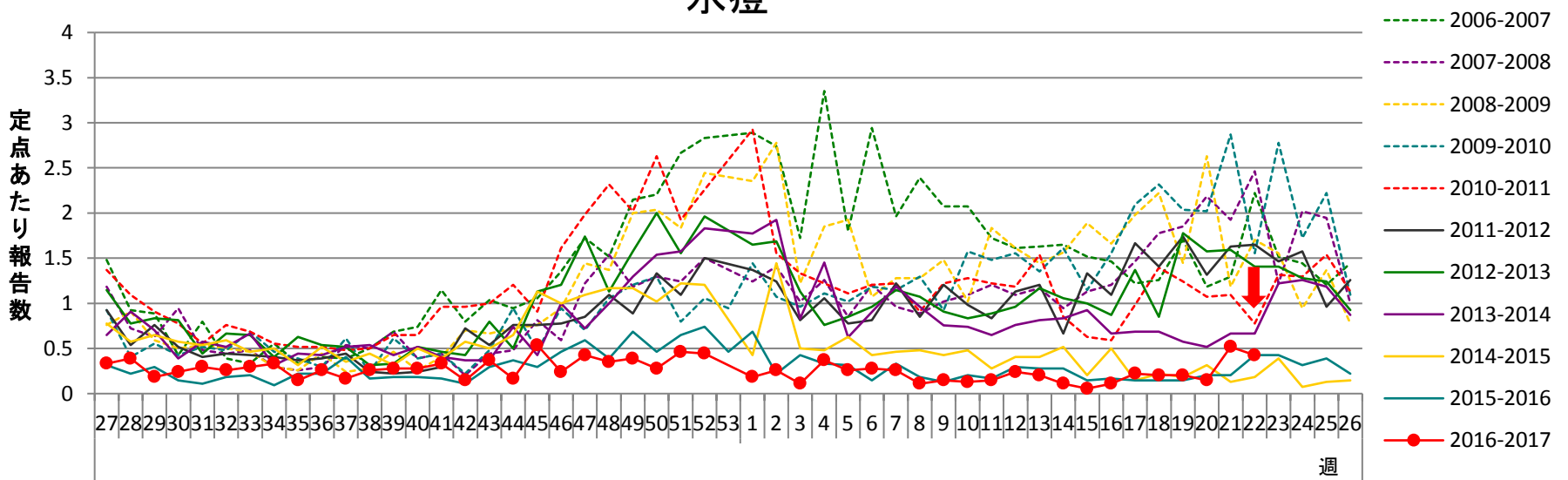
(- : 0)



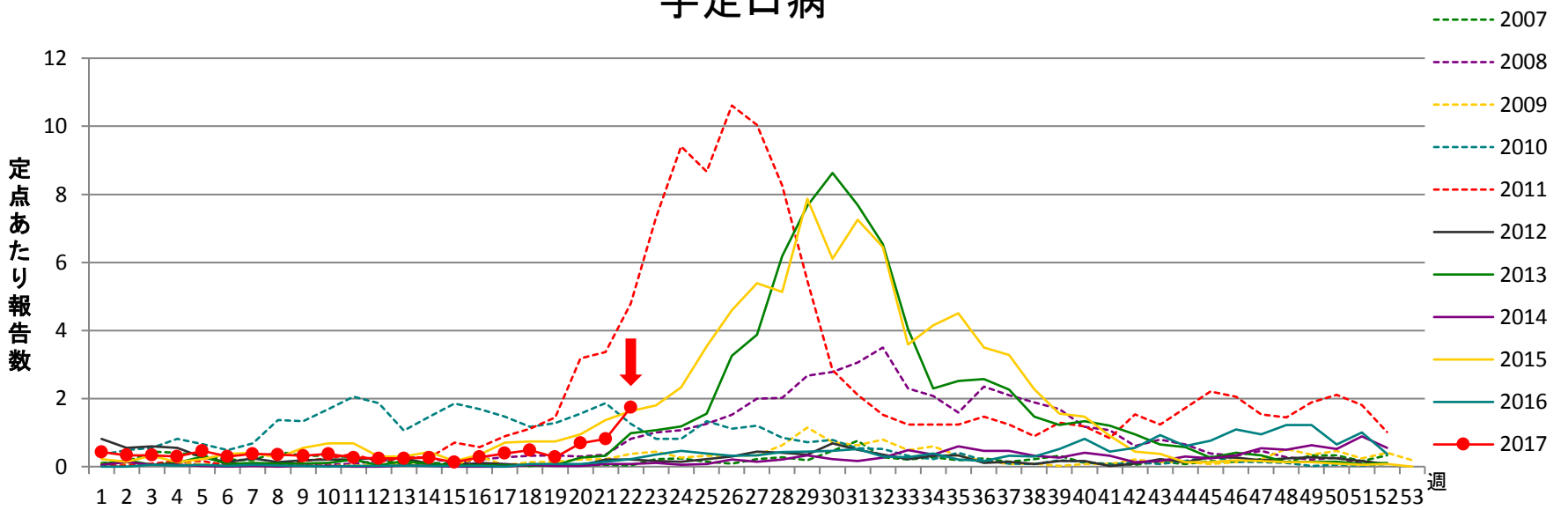
感染性胃腸炎



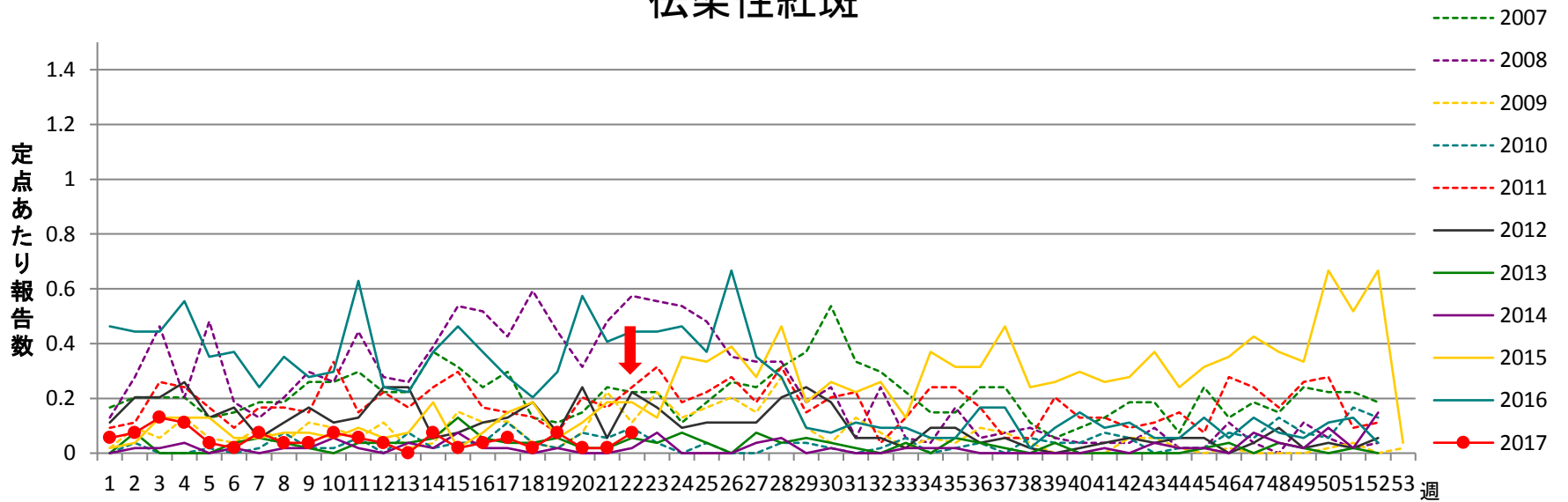
水痘



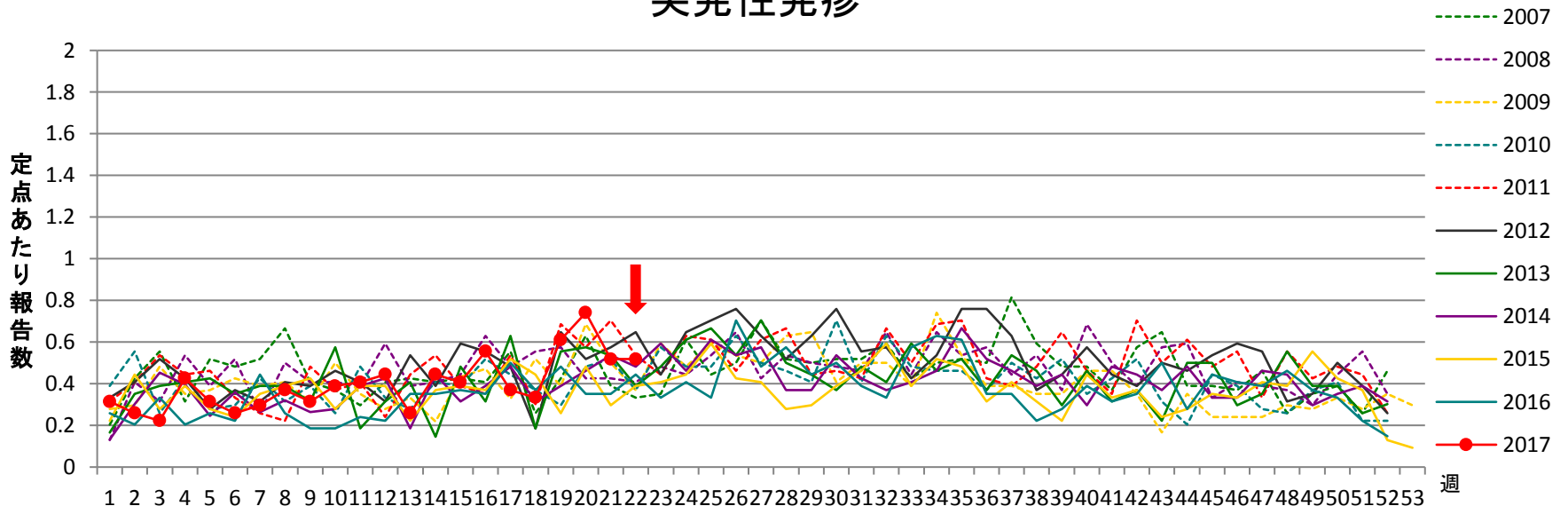
手足口病



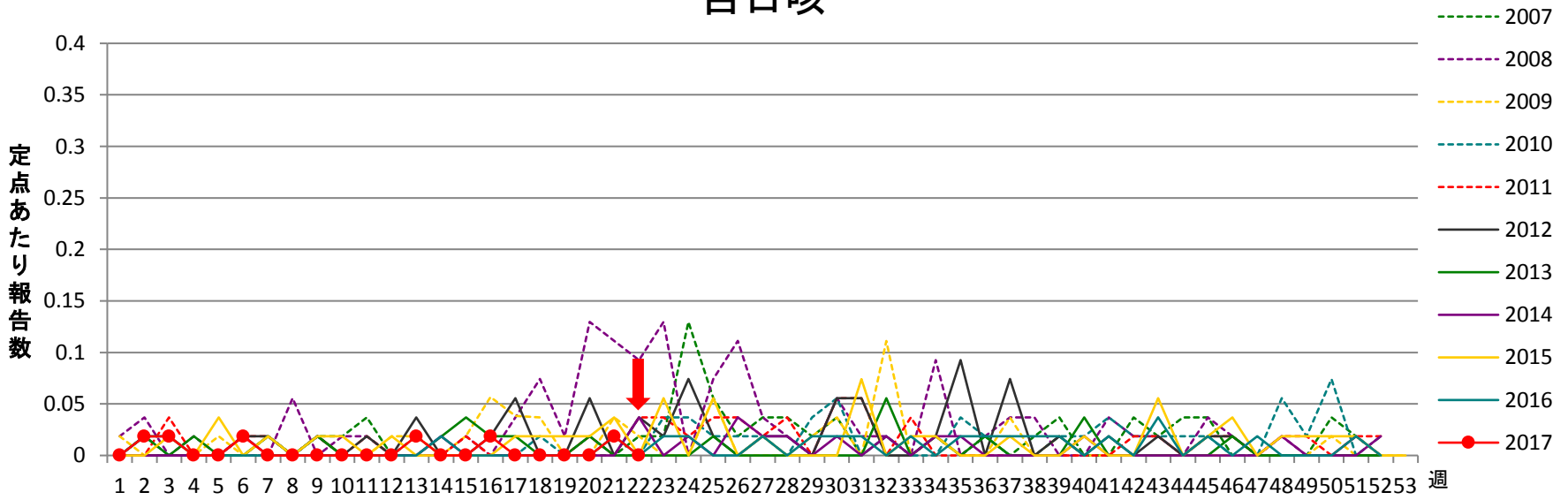
伝染性紅斑



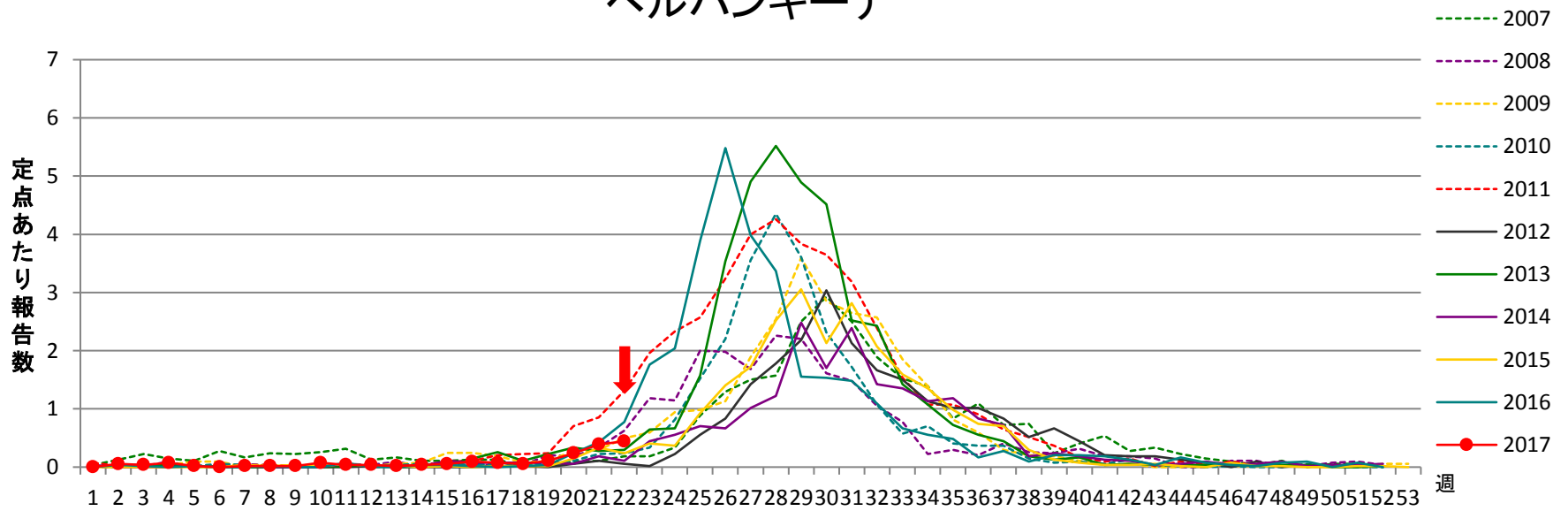
突発性発疹



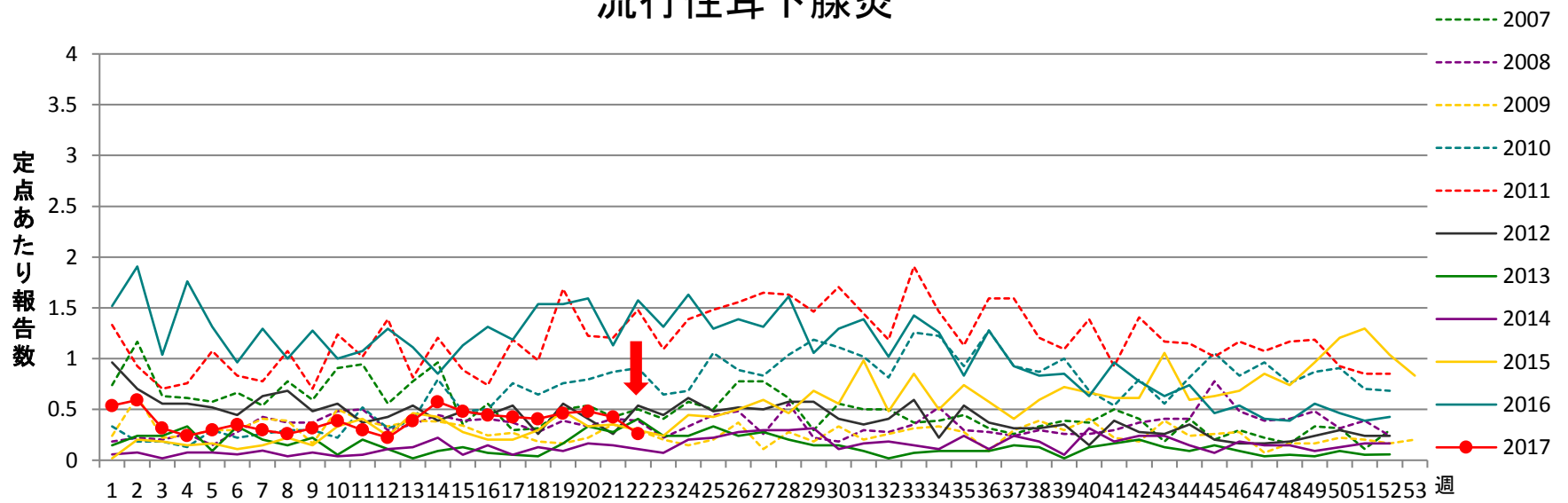
百日咳



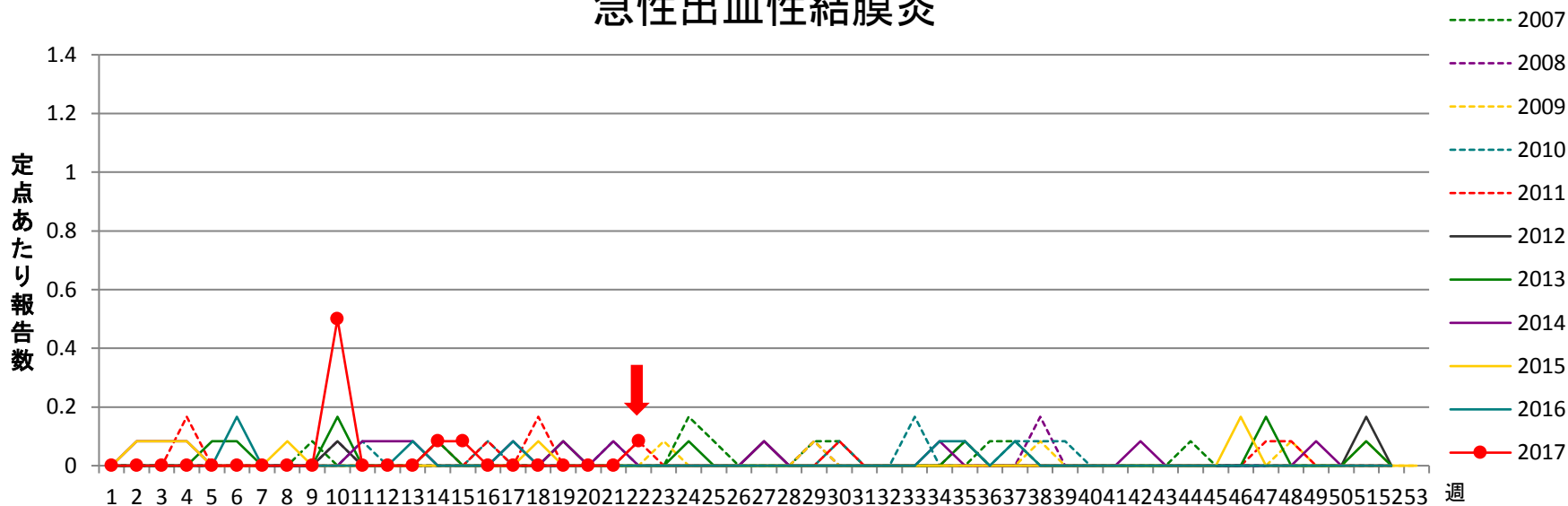
ヘルパンギーナ



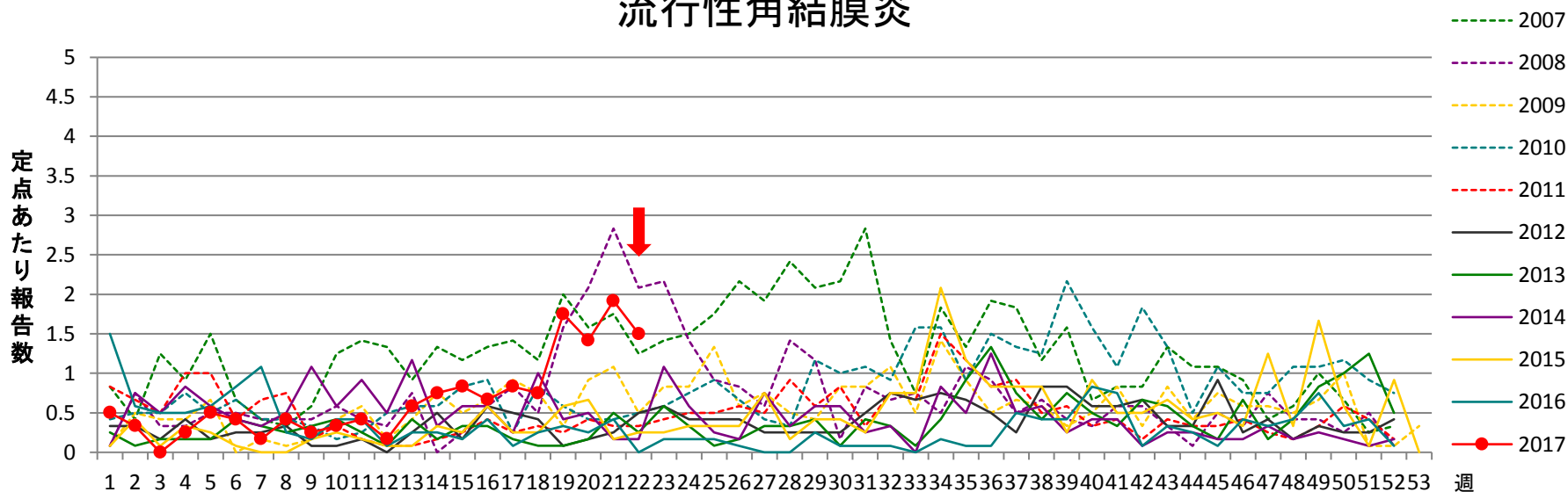
流行性耳下腺炎



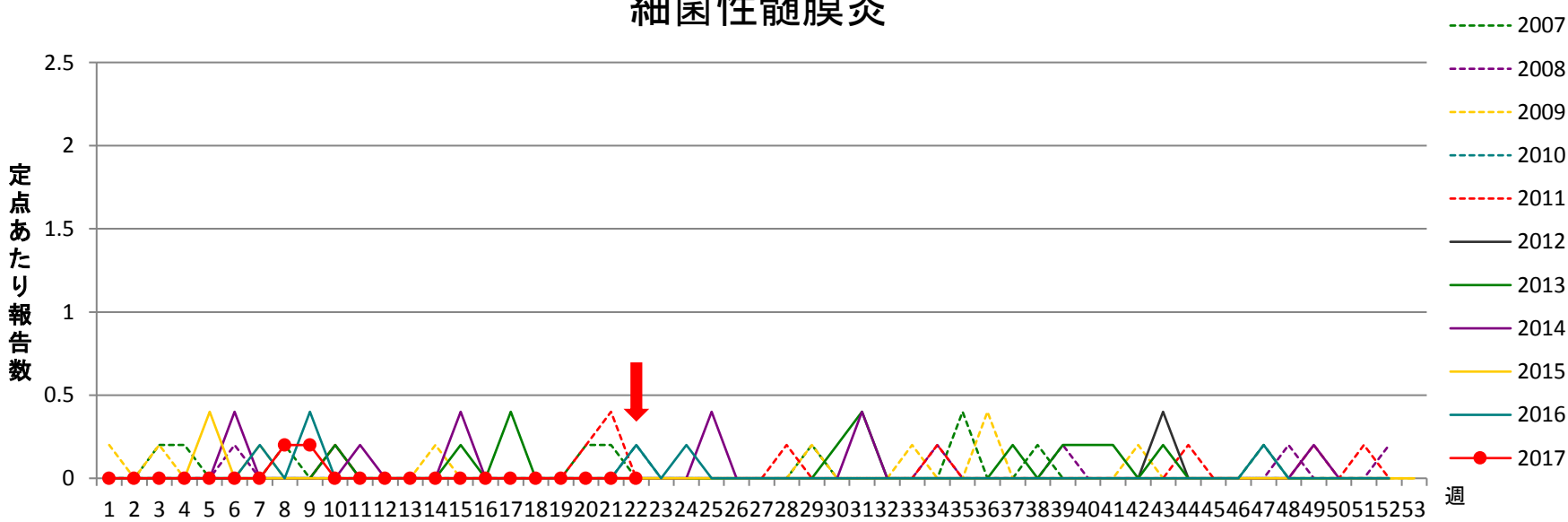
急性出血性結膜炎



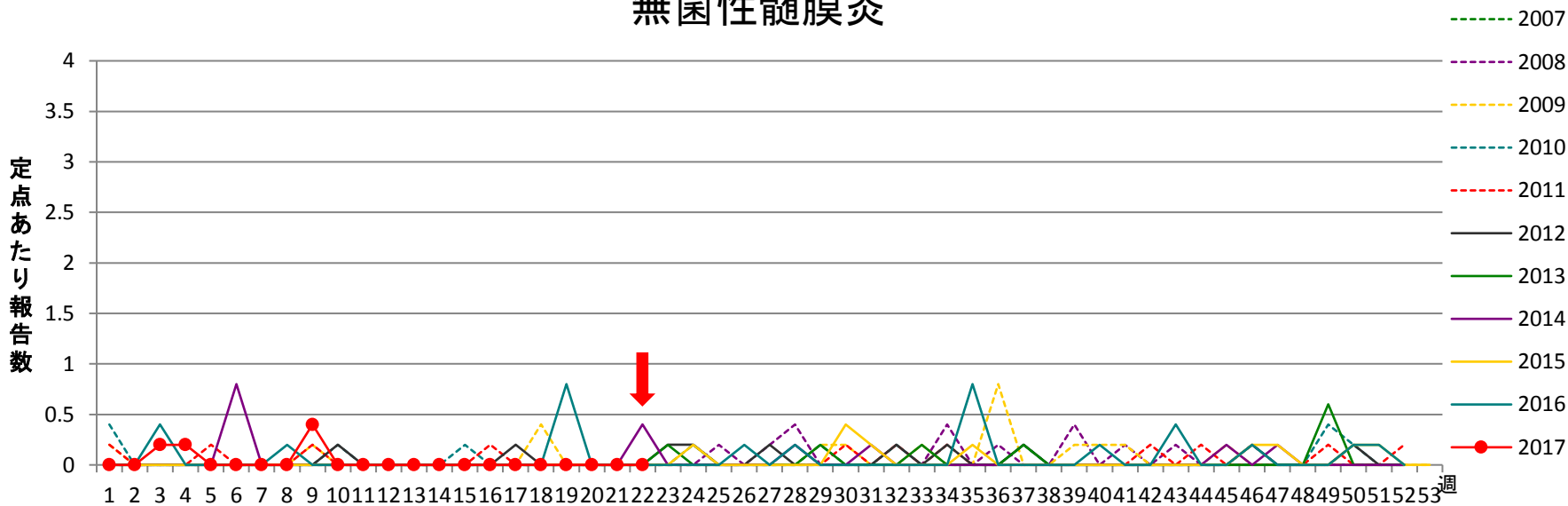
流行性角結膜炎



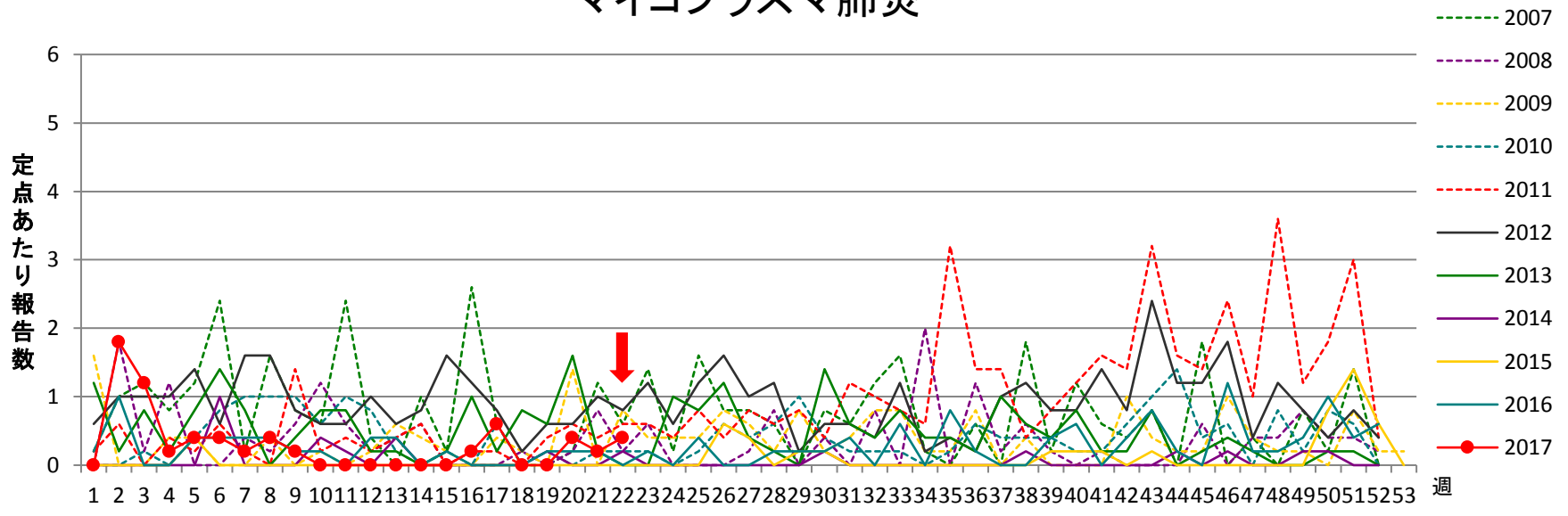
細菌性髄膜炎



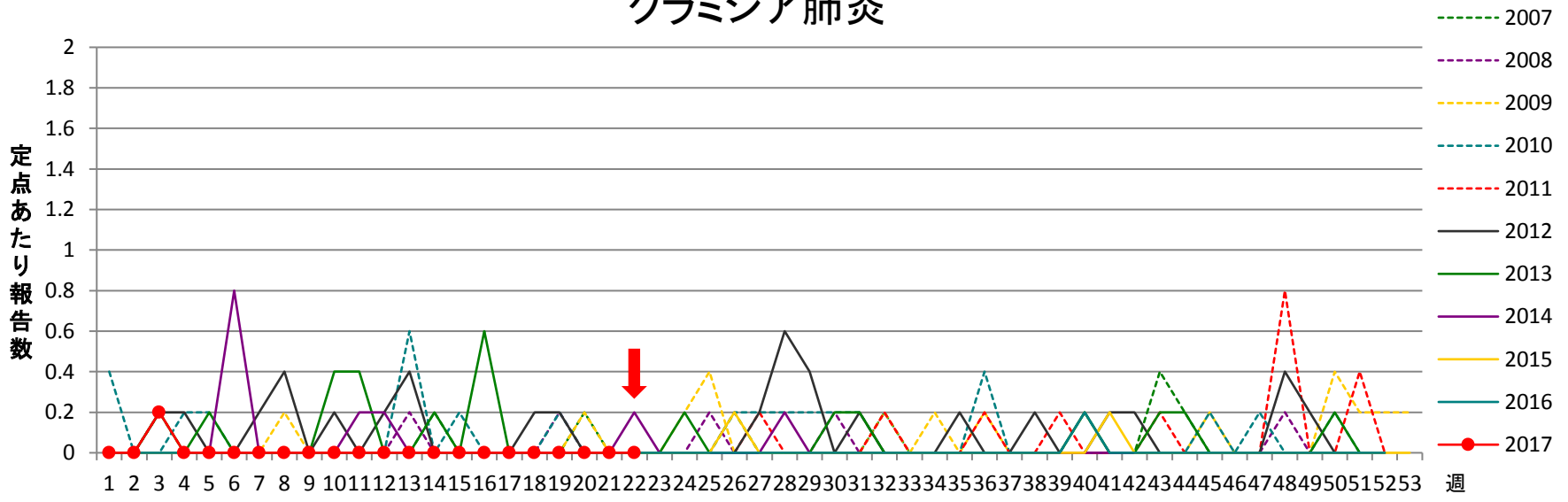
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

